



会計-款-項-目-事業名称	最終予算現額	決算額	ページ	備考
建設課				
7.土木費				
1.土木管理費				
1.土木総務費				
土木総務事業	1,323	1,184	10-1	
2.道路橋梁費				
1.道路維持費				
道路維持管理事業	65,578	50,082	10-2	
2.道路新設改良費				
町道等改良整備事業	718,800	511,121	10-3	
3.除雪対策費				
除雪対策事業	46,325	35,008	10-4	
3.河川費				
1.河川維持費				
河川維持管理事業	5,680	5,243	10-5	
2.河川新設・改修費				
ヲナガケ川改修事業	151,210	99,284	10-6	
4.都市計画費				
1.都市計画総務費				
一般管理費	292	287	10-7	
2.公園費				
小公園管理事業	3,013	2,640	10-8	
5.住宅費				
1.住宅管理費				
住宅管理事業	29,300	25,065	10-9	
コーポラスことら管理事業	25,932	21,541	10-10	
2.住宅建設費				
公営住宅等整備事業	37,257	5,562	10-11	
10.災害復旧費				
2.地震災害復旧費				
2.鳥取県中部地震対策費				
鳥取中部地震災害対策事業(地震災害復旧費・建設課)	9,690	8,701	10-12	
3.公共土木施設災害復旧費				
1.公共土木施設災害復旧費				
公共土木施設災害復旧事業	8,292	5,734	10-13	
12.諸支出金				
1.諸費				
1.国県支出金返納金				
国県支出金返納金	9,508	9,508		事務費



平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	222	事業名	土木総務事業				会計区分	一般会計		
担当課	建設課		担当係	維持管理係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続			
予算区分	款	7	土木費	項	1	土木管理費	目	1	土木総務費	
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)		
			国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源			
平成29年度	1,323	1,184	0	0	0	0	1,184			
平成29年度(明許)										
経費の内訳	負担金、補助及び交付金 169千円 使用料及び賃借料 612千円 その他 403千円									
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)			
設定なし		目標								
		実績								
		達成率								
事業対象	・土砂災害警戒区域にある集落等 ・道路や河川等の整備促進を目的とした任意団体 ・海岸管理 ・建設課公用車									
事業目的	土砂災害特別警戒区域に指定された地域にある急傾斜地の崩壊を未然に防ぐため、県または町が事業主体となって施設整備することにより、町民の生命財産の保護を図ります。 道路や河川等の整備促進を図るため、県内自治体で組織する期成会等に参加して情報の共有化や政府や国機関へ要望活動を実施します。 海岸・港湾施設の維持管理、建設課の業務で使用する公用車の適切な管理を行います。									
事業の主な実施状況	【主な実施内容】 1. 道路関係期成会負担金（道路整備促進期成同盟会ほか4団体） 105 千円 2. 全国治水砂防協会鳥取県支部負担金 20 千円 3. 海岸・港湾関係協会負担金 44 千円 4. ふるさと海岸公園管理委託料、逢東海岸砂揚機械代 298 千円									
成果と課題	【前年度課題の概要】 ① 急傾斜地崩壊対策事業は、調査測量の段階から受益者負担金が生じ、かつ、事業完了までは相応の負担が生じるため、要望はあるが事業化までには至っていません。 ② 社会資本整備総合交付金の配分額が減少傾向にある中で、予算獲得に向けた要望活動は重要度を増しているため、引き続き国への要望は必要と思われます。 【成果及び前年度課題に対する対応】 ① 急傾斜地崩壊対策事業は、制度上受益者負担が生じます。地元からの要望や問合せはありますが、負担に関して地元内での合意形成が得られておらず、事業化に至っていません。 ② 道路整備における国の補助率嵩上げの特例措置が時限切れにより終了する見込みでしたが、政府に対して意見書を提出したほか、道路関係期成会等で要望活動を行い、平成30年度以降も補助率嵩上げ措置が継続することが決定されました。これにより、町の負担増加を回避することができました。 【次年度に向けての課題】 ① 急傾斜地崩壊対策事業は、事業実施に関する地元同意が得られ次第に事業実施者である県への要望を行います。 ② 社会資本整備総合交付金の配分額が減少傾向にある中で、橋梁の老朽化対策に関する必要事業費は増えています。地方が抱える現状や課題を期成会等を通じて、引き続き国へ要望を行っていきます。									
所管課の評価	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0 10,7,3,0	
	評価点	10	10	1	3	3	1	公平性 受益者の偏りはないか。	5,3,1,0 5,3,1,0	
								有効性 目標数値は達成できたか。	5,3,1,0	
								効率性 コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0	
合計点	28	総合評価	B	急傾斜地の整備及び道路施設の老朽化対策に予算確保は必要であるため、事業継続すべきと考えています。				先駆性・独創性 他の見本となりえるか。	5,3,1,0	
A:事業拡充 B:現状維持 C:内容の見直し又は委託の検討 D:縮小・終期設定 E:休止・廃止										



平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	226	事業名	道路維持管理事業				会計区分	一般会計																		
担当課	建設課		担当係	維持管理係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																			
予算区分	款	7	土木費	項	2	道路橋梁費	目	1	道路維持費																	
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)																		
			国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源																			
平成29年度	55,828	48,255	0	62	0	0	48,193																			
平成29年度(明許)	9,750	1,827	0	0	0	0	1,827																			
経費の内訳	工事請負費 8,248千円 委託料 6,918千円 需用費 29,823千円 その他 5,093千円																									
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)																			
LED街路灯新設・ 取替	基	目標	230	200	140																					
		実績	225	182	132																					
		達成率	98%	91%	94%																					
事業対象	町道施設及び道路付属物																									
事業目的	町道の歩行者、通行車両の安全を確保するため、道路、街路灯、交通安全施設等の維持修繕を行う。																									
事業の 主な 実施状況	【主な実施内容】 町道施設の管理のため、各種補修や工事、業務を行いました。 <table border="0" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">1. 街路灯LED設置取替工事 (132基)</td> <td style="text-align: right;">7,908 千円</td> </tr> <tr> <td>2. 町道八橋以西線防護柵設置工事</td> <td style="text-align: right;">2,380 千円</td> </tr> <tr> <td>3. 町道中尾金屋線舗装修繕工事</td> <td style="text-align: right;">1,727 千円</td> </tr> <tr> <td>4. 町道矢下市内線ほか区画線工事</td> <td style="text-align: right;">980 千円</td> </tr> <tr> <td>5. カーブミラー及び防護柵等安全施設の設置・修繕 (19箇所)</td> <td style="text-align: right;">1,937 千円</td> </tr> <tr> <td>6. 道路の老朽化等に伴う補修・修繕等対応</td> <td style="text-align: right;">14,075 千円</td> </tr> <tr> <td>7. 道路台帳整備業務</td> <td style="text-align: right;">4,428 千円</td> </tr> <tr> <td>8. 街路樹剪定業務</td> <td style="text-align: right;">2,246 千円</td> </tr> </table>										1. 街路灯LED設置取替工事 (132基)	7,908 千円	2. 町道八橋以西線防護柵設置工事	2,380 千円	3. 町道中尾金屋線舗装修繕工事	1,727 千円	4. 町道矢下市内線ほか区画線工事	980 千円	5. カーブミラー及び防護柵等安全施設の設置・修繕 (19箇所)	1,937 千円	6. 道路の老朽化等に伴う補修・修繕等対応	14,075 千円	7. 道路台帳整備業務	4,428 千円	8. 街路樹剪定業務	2,246 千円
	1. 街路灯LED設置取替工事 (132基)	7,908 千円																								
2. 町道八橋以西線防護柵設置工事	2,380 千円																									
3. 町道中尾金屋線舗装修繕工事	1,727 千円																									
4. 町道矢下市内線ほか区画線工事	980 千円																									
5. カーブミラー及び防護柵等安全施設の設置・修繕 (19箇所)	1,937 千円																									
6. 道路の老朽化等に伴う補修・修繕等対応	14,075 千円																									
7. 道路台帳整備業務	4,428 千円																									
8. 街路樹剪定業務	2,246 千円																									
																										
	町道八橋以西線防護柵設置工事		町道中尾金屋線舗装修繕工事																							
成果と 課題	【前年度課題の概要】 <ol style="list-style-type: none"> 町道の老朽化や破損箇所はパトロールや住民からの通報で発覚することが多く、数値目標の設定は困難です。 昭和30年代～40年代にかけて町道認定した路線を数多く抱えており、橋梁や舗装、道路側溝の老朽化が進んでいます。道路施設の老朽化に加えて住民の安全意識向上により、数多くの地元要望を受けているが、予算を無尽蔵に投入することは困難であり、高まる要望に対応が追いついていません。 																									
	【成果及び前年度課題に対する対応】 <ol style="list-style-type: none"> 郵便局との提携により、郵便配達時等で道路の異常を発見した際の連絡体制を構築し、道路施設監視体制を強化することができました。 道路施設の老朽化が進んでおり、地元からの通報や要望が数多く寄せられています。限られた予算の中で緊急度や優先度を考慮しながら、補修や修繕を行いました。 舗装については、路面状態の点検結果と路線が持つ性質等の洗い出しを行い、優先順位を定めた修繕計画の策定を行いました。 																									
所管課の 評価	【次年度に向けての課題】 <ol style="list-style-type: none"> 引き続き、緊急度及び優先度を考慮し、また、経済性に有利な修繕方法を検討するなどして道路施設の維持に努めます。 今年度策定した舗装修繕計画により、年次的に舗装修繕工事を行っていきます。 																									
	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0																
評価点		10	10	5	3	3	1	妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0																
								公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0																
								有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0																
								効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0																
								先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0																
合計点	32	総合評価	B	町道は、住民の移動手段だけでなく、経済活動面からも欠かすことができない施設であるため、永続的に機能を保持することが必要です。				A:事業拡充 B:現状維持 C:内容の見直し又は委託の検討 D:縮小・終期設定 E:休止・廃止																		




平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	228	事業名	町道等改良整備事業				会計区分	一般会計		
担当課	建設課		担当係	土木係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続			
予算区分	款	7	土木費	項	2	道路橋梁費	目	2	道路新設改良費	
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)		
			国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源			
平成29年度	511,100	304,301	154,023	0	15,685	123,215	11,378	基金繰入15,685千円		
平成29年度(明許)	207,700	206,820	103,296	9,608	0	64,700	29,216			
経費の内訳	工事請負費 236,782千円 委託料 242,698千円 公有財産購入費 11,220千円 その他 20,421千円									
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)			
社会資本整備総合交付金 (目標: 交付金要望額、実績: 配分額)	千円	目標	184,600	457,200	273,121	163,453	157,795			
		実績	119,789	325,336	236,232					
		達成率	65%	71%	86%	0%	0%			
事業対象	・町道施設									
事業目的	町道の歩行者及び通行車両の安全確保、アクセス向上、道路や橋梁の大規模修繕を実施し、道路ストック効果を高める。									
事業の 主な 実施状況	【主な実施内容】 道路施設の機能向上や老朽化対策に取り組みました。 ○社会資本整備総合交付金実施事業 (町単独実施分含む) (単位: 千円)									
	交付金整備計画			現年度		明許繰越 (H28→H29)				
	ICアクセス整備 (国道9号～山陰道IC)			21,927		20,691				
	道路拡幅等改良			67,834		19,074				
通学路安全対策			49,794		22,565					
橋梁老朽化対策			26,944		35,222					
防災・安全対策			94,426		97,059					
合計			260,925		194,611					
										
町道立子大熊線道路改良工事			町道鈴ヶ野線道路改良工事							
○別所地区アクセス道路整備事業										
1. 別所第3踏切拡幅工事委託 33,700 千円										
成果と 課題	【前年度課題の概要】									
	① 国交付金を活用しながら事業を推進するため、配分により計画の進捗が左右されます。 ② 道路施設の老朽化に加え住民の安全意識向上により、地元から数多くの改良等要望を受けているが、交付金の配分が低下している中で、事業未着手の路線が増加しています。 交付金の配分率を上げることによって事業進捗を加速させるため、特化メニューによる重点配分を受けられるよう整備内容等、事業計画を見直していく必要があります。									
	【成果及び前年度課題に対する対応】									
	① 平成29年度より交付金要望方法が変更され、町が想定する事業費の要望が困難になってきているほか、国補助率も下がっており事業進捗に多大な影響を及ぼしています。 ② 交付金の配分率を上げるために、国が示す重点配分事業である通学路安全対策や橋梁老朽化対策にて事業推進できるよう整備計画の変更を行いました。									
【次年度に向けての課題】										
① 国補助率のさらなる引き下げや配分の低下が予見されます。平成30年度から新たな整備計画による事業実施となるため、事業の性質を見極めながら整備を進めて行く必要があります。 ② 橋梁の法定点検で1巡目が完了しましたが、全国平均より損傷度が進行していることが判明しています。橋梁長寿命化を図るためにも修繕工事等の対策を着実に進めて行く必要があります。										
所管課の 評価	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業の必要性は。 行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。	10,7,3,0 10,7,3,0 5,3,1,0
	評価点	10	10	3	3	3	3	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0
	合計点	32	総合評価	B	道路交通のあり方が変化しているため主要路線の改良のほか、橋梁は老朽化が進行しているため大規模修繕等対策が必要です。			A:事業拡充 B:現状維持 C:内容の見直し又は委託の検討 D:縮小・終期設定 E:休止・廃止		

平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	787	事業名	除雪対策事業				会計区分	一般会計			
担当課	建設課		担当係	維持管理係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続				
予算区分	款	7	土木費	項	2	道路橋梁費	目	3	除雪対策費		
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)			
			国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源				
平成29年度	46,325	35,008	5,000	2,529	0	0	27,479				
平成29年度(明許)											
経費の内訳	使用料及び賃借料 18,856千円 委託料 9,633千円 その他 6,519千円										
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)				
設定なし		目標									
		実績									
		達成率									
事業対象	町道 260路線 県道受託路線 5路線										
事業目的	積雪時における通勤・通学時や緊急車両の交通を確保し、住民の安全・安心な生活に資する。										
事業の 主な 実施状況	<p>【主な実施内容】 積雪時の除雪作業を行いました。</p> <p>1. 町有除雪車両貸与による除雪委託料 8,393 千円</p> <p>2. 町内事業者保有除雪車両借上による除雪 18,856 千円</p> <p>3. 融雪装置管理委託料 1,240 千円</p> <p>4. 除雪機械運転手育成補助金 352 千円</p> <p>※町内建設事業所等が従業員に除雪作業に必要な機械の運転免許や技能資格を習得させた場合に、掛る経費の3分の2を補助する制度</p>										
	 										
成果と 課題	<p>【前年度課題の概要】</p> <p>① 現在、町有の除雪車両を6台保有しているが、購入から40年近く経過しており、老朽化による故障も多くなってきていることから、年次的に車両を更新していく必要があります。</p> <p>② 町内事業者へ委託を行っているが、オペレータは高齢化しつつあり、次世代の育成を支援する必要があります。</p> <p>③ 除雪車両が進入不可能な路線については、地元での除雪対応をお願いしているところであるが、高齢化等の社会情勢の変化により対応できない集落等が生じつつあり、行政へのニーズが高まっています。</p> <p>【成果及び前年度課題に対する対応】</p> <p>町内事業者の除雪機械運転手の高齢化が進んでいるため、平成29年度に除雪機械運転手育成支援補助金を創設し、5社5名の運転手育成を図り、除雪体制の構築に努めることができました。</p> <p>【次年度に向けての課題】</p> <p>すべての町道路線の除雪を道路管理者が実施することは困難で一部は地元対応をお願いせざるを得ないため、円滑な除雪実施を支援する必要があります。</p>										
所管課の 評価	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0	
	評価点	10	10	5	3	1	1	妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0	
									公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
									有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
合計点	30	総合評価	B	降雪期の住民の移動や物流を支えるためにも除雪体制は維持していく必要があります。			効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0		
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0		
									A:事業拡充 B:現状維持 C:内容の見直し又は委託の検討 D:縮小・終期設定 E:休止・廃止		

平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	231	事業名	河川維持管理事業			会計区分	一般会計								
担当課	建設課		担当係	維持管理係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続								
予算区分	款	7	土木費	項	3	河川費	目	1	河川維持費						
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)							
			国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源								
平成29年度	2,780	2,716	0	0	0	0	2,716								
平成29年度(明許)	2,900	2,527	0	0	0	0	2,527								
経費の内訳	需用費 1,716千円 工事請負費 3,355千円 その他 172千円														
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)								
設定なし	箇所	目標													
		実績													
		達成率													
事業対象	・準用河川、普通河川(水路含む)														
事業目的	準用河川、普通河川の維持修繕を行う。														
事業の 主な 実施状況	【主な実施内容】 河川管理のため、各種補修や工事を行いました。 <table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td style="width:70%;">1. 八橋1区水路蓋修繕</td> <td style="text-align:right;">1,026 千円</td> </tr> <tr> <td>2. 浦安地区水路修繕工事</td> <td style="text-align:right;">828 千円</td> </tr> <tr> <td>3. 倉坂部落内水路改修工事</td> <td style="text-align:right;">2,527 千円</td> </tr> </table>									1. 八橋1区水路蓋修繕	1,026 千円	2. 浦安地区水路修繕工事	828 千円	3. 倉坂部落内水路改修工事	2,527 千円
	1. 八橋1区水路蓋修繕	1,026 千円													
2. 浦安地区水路修繕工事	828 千円														
3. 倉坂部落内水路改修工事	2,527 千円														
  			八橋1区水路蓋修繕			浦安地区水路修繕工事			倉坂部落内水路改修工事						
成果と 課題	【前年度課題の概要】 ① 気象の変化により、短時間に集中して降雨する傾向となっており、今後も豪雨等も予想されることから、河川機能の保全及び費用対効果を勘案しながら改修していく必要があります。														
	【成果及び前年度課題に対する対応】 水路の改修のほか、河床及び護岸の保護を行い、排水性の向上と河川の保全を行うことができました。														
	【次年度に向けての課題】 引き続き河川の補修、土砂撤去等により、河川機能の保持を行う必要があります。														
所管課の 評価	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性 有効性 効率性 先駆性・独創性	住民ニーズ、事業の必要性は。 行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。 目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	10,7,3,0 10,7,3,0 5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0					
	評価点	10	10	3	3	3	1								
	合計点	30	総合 評価	B	河川は生活や農業生産活動等に欠かせないため、機能を保持する必要があります。				A:事業拡充 B:現状維持 C:内容の見直し又は委託の検討 D:縮小・終期設定 E:休止・廃止						

平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1271	事業名	ヲナガケ川改修事業				会計区分	一般会計		
担当課	建設課		担当係	土木係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続			
予算区分	款	7	土木費	項	3	河川費	目	2	河川新設・改修費	
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)		
			国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源			
平成29年度	85,000	41,582	0	0	0	41,500	82			
平成29年度(明許)	66,210	57,702	0	0	0	57,700	2			
経費の内訳	工事請負費 88,298千円 補償金 10,278千円 委託料 708千円									
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)			
ヲナガケ川排水路 整備工事全体の進 捗率	%	目標	30	60	100	100				
		実績	30	50	60					
		達成率	100%	83%	60%					
事業対象	・準用河川ヲナガケ川									
事業目的	準用河川ヲナガケ川下流域の浸水対策									
事業の 主な 実施状況	【主な実施内容】									
	内 容		現年度	明許繰越 (H28→H29)						
	積算及び現場支援業務		707	—						
ヲナガケ川改修工事		40,875	47,423							
下水道マンホールポンプ移設補償費		—	10,278							
合計		41,582	57,702							
		ヲナガケ川改修工事(5工区)				ヲナガケ川改修工事(6工区)				
成果と 課題	【前年度課題の概要】									
	① 次の工区は特殊工法による施工であるため、一層の安全確保等の現場管理が必要です。									
	【成果及び前年度課題に対する対応】 今年度の施工工区は特殊工法によるものであったが、地盤地質の状態が好ましいものでなかったため、工法の見直しを行わざるを得ず、当初の見込みより工事を進めることができませんでした。このため、平成30年度に完成を見送る事態となりました。									
【次年度に向けての課題】 鉄道と近接する工事のため、鉄道事業者との施工協議を速やかに実施し、早期着工及び完成を目指します。										
所管課の 評価	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業の必要性は。 行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。	10,7,3,0 10,7,3,0 5,3,1,0
	評価点	10	10	3	3	1	3	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0
	合計点	30	総合 評価	B	ヲナガケ川の氾濫対策は、旧町からの課題であったため、完成を目指します。			A:事業拡充 B:現状維持 C:内容の見直し又は委託の検討 D:縮小・終期設定 E:休止・廃止		

平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	233	事業名	一般管理費				会計区分	一般会計		
担当課	建設課		担当係	住宅係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続			
予算区分	款	7	土木費	項	4	都市計画費	目	1	都市計画総務費	
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)		
			国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源			
平成29年度	292	287	135	0	0	0	152			
平成29年度(明許)										
経費の内訳	負担金、補助及び交付金 160千円 委託料 112千円 その他 15千円									
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)			
設定なし	箇所	目標								
		実績								
		達成率								
事業対象	・都市計画総務、旧耐震基準の住宅・建築物									
事業目的	都市の健全な発展と秩序ある整備を図るために都市計画を定め、都市計画関連事業の実施、都市計画審議会の運営を行う。 住宅・建築物の耐震化を促進し、町民の生命・財産を守るため、耐震診断、改修費用の助成を行う。									
事業の 主な 実施状況	【主な実施内容】 ①耐震診断業務1件、耐震設計業務1件、建築物耐震診断2件 272 千円 住宅・建築物及びブロック塀の耐震診断及び改修を促進することにより、 安全性の向上を図り、震災に強いまちづくりを促進する。									
成果と 課題	【前年度課題の概要】 ① 住宅・建築物の耐震化対策においては、更なる推進が必要です。									
	【成果及び前年度課題に対する対応】 ①耐震診断業務1件、耐震設計業務1件、建築物耐震診断2件 272 千円									
	【次年度に向けての課題】 ① 住宅・建築物の耐震化対策においては、更なる推進が必要です。									
所管課の 評価	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業の必要性は。 行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。	10,7,3,0 10,7,3,0 5,3,1,0
	評価点	10	10	3	3	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0
	合計点	30	総合 評価	B	耐震化対策においては、更なる推進が必要です。				A:事業拡充 B:現状維持 C:内容の見直し又は委託の検討 D:縮小・終期設定 E:休止・廃止	

平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	234	事業名	小公園管理事業				会計区分	一般会計		
担当課	建設課		担当係	住宅係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続			
予算区分	款	7	土木費	項	4	都市計画費	目	2	公園費	
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)		
			国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源			
平成29年度	3,013	2,640	0	0	0	0	2,640			
平成29年度(明許)										
経費の内訳	需用費 1,273千円 委託料 992千円 その他 375千円									
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)			
設定なし	箇所	目標								
		実績								
		達成率								
事業対象	・都市の健全な発展と秩序ある整備を図るために都市計画を定め、都市計画関連事業の実施、都市計画審議会の運営を行う。住宅・建築物の耐震化を促進し、町民の生命・財産を守るため、耐震診断、改修費用の助成を行う。									
事業目的	公園の管理を適正に行い、町民の公共の福祉に資する。									
事業の 主な 実施状況	【主な実施内容】 ○公園施設の管理するため、点検や修繕を行いました。									
成果と 課題	【前年度課題の概要】 ① 公園施設、遊具が老朽化しているため、年次的に更新及び修繕を行う必要があります。									
	【成果及び前年度課題に対する対応】 ① 公園遊具の点検や除草清掃等の維持管理を行い、憩いの場を提供することができました。 ポート赤碕ふれあい広場ほか <ul style="list-style-type: none"> ・公園施設清掃、植栽剪定 ・公園遊具点検 ・公園施設修繕 									
	【次年度に向けての課題】 遊具点検の結果、ポート赤碕の遊具に老朽化が見られたため、修繕を行う必要があります。									
所管課の 評価	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
								妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
	評価点	7	7	3	3	3	1	公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
									有効性	目標数値は達成できたか。
合計点	24	総合 評価	B	都市計画中の都市公園として維持管理していく必要 があります。			先駆性・独創性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0	
								他の見本となりえるか。	5,3,1,0	
								A:事業拡充 B:現状維持 C:内容の見直し又は委託の検討 D:縮小・終期設定 E:休止・廃止		

平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	237	事業名	住宅管理費				会計区分	一般会計																				
担当課	建設課		担当係	住宅係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																					
予算区分	款	7	土木費	項	5	住宅費	目	1	住宅管理費																			
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)																				
			国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源																					
平成29年度	24,040	20,877	0	844	2,254	0	17,779	使用料2,150千円 等																				
平成29年度(明許)	5,260	4,188	0	0	0	0	4,188																					
経費の内訳	需用費 18,132千円 役務費 2,099千円 その他 4,834千円																											
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)																					
設定なし	箇所	目標																										
		実績																										
		達成率																										
事業対象	・町営住宅344戸、特定公共賃貸住宅28戸、改良住宅30戸、町民住宅1戸、県営住宅34戸																											
事業目的	町営住宅、特定公共賃貸住宅、改良住宅、町民住宅、県営住宅の適正な維持管理を行う。																											
事業の 主な 実施状況	【主な実施内容】																											
	<table border="0"> <tr> <td>1</td> <td>住宅通常修繕</td> <td>214件</td> <td>12,992</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>火災保険料</td> <td></td> <td>1,621</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>保守委託料等</td> <td></td> <td>1,240</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>光熱水費</td> <td></td> <td>689</td> <td>千円</td> </tr> </table>									1	住宅通常修繕	214件	12,992	千円	2	火災保険料		1,621	千円	3	保守委託料等		1,240	千円	4	光熱水費		689
1	住宅通常修繕	214件	12,992	千円																								
2	火災保険料		1,621	千円																								
3	保守委託料等		1,240	千円																								
4	光熱水費		689	千円																								
成果と 課題	【前年度課題の概要】																											
	① 家賃滞納が増加傾向にあり、引き続き対策が必要です。																											
成果と 課題	【成果及び前年度課題に対する対応】																											
	1 町営住宅等の維持管理を行いました。 町営住宅344戸、特定公共賃貸住宅28戸、改良住宅30戸、町民住宅1戸 県営住宅34戸 2 滞納対策として、滞納高額者1件の明渡訴訟を提訴しました。																											
成果と 課題	【次年度に向けての課題】																											
	① 家賃滞納が増加傾向にあり、引き続き対策が必要です。																											
所管課の 評価	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0																		
	評価点	10	10	1	3	3	1	妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0																		
								公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0																		
								有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0																		
合計点	28	総合 評価	B	低所得者等の入居者のため、居住確保を行う必要 があります。				A:事業拡充 B:現状維持 C:内容の見直し又は委託の検討 D:縮小・終期設定 E:休止・廃止																				

平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1028	事業名	コーポラスことうら管理事業				会計区分	一般会計		
担当課	建設課		担当係	住宅係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続			
予算区分	款	7	土木費	項	5	住宅費	目	1	住宅管理費	
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)		
			国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源			
平成29年度	25,932	21,541	0	0	21,541	0	0	使用料21,501千円 等		
平成29年度(明許)										
経費の内訳	需用費 4,575千円 使用料及び賃借料 1,080千円 積立金 15,699千円 その他 187千円									
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)			
設定なし	箇所	目標								
		実績								
		達成率								
事業対象	・コーポラスことうら80戸									
事業目的	コーポラスことうらの適正な維持管理を行う。									
事業の 主な 実施状況	【主な実施内容】									
	1 住宅修繕 40件 3,772 千円 2 駐車場借上げ 1,080 千円 3 光熱水費 764 千円 4 コーポラスことうら基金積立 15,699 千円									
成果と 課題	【前年度課題の概要】									
	① 家賃滞納が増加傾向にあり、対策が必要です。									
【成果及び前年度課題に対する対応】										
1 コーポラスことうらの維持管理を行いました。 2 家賃改定を行い、入居促進を行いました。 3 滞納対策として、明渡し訴訟を行いました。対象者2件										
【次年度に向けての課題】										
① 家賃滞納が増加傾向にあり、対策が必要です。										
所管課の 評価	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
	評価点	10	3	1	3	3	1	妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
								公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
								有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
合計点	21	総合 評価	B	雇用促進事業団から事業承継したコーポラスことうら				A:事業拡充 B:現状維持 C:内容の見直し又は委託の検討 D:縮小・終期設定 E:休止・廃止		
らを、維持管理を行う必要があります。										

平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	828	事業名	公営住宅整備事業				会計区分	一般会計		
担当課	建設課		担当係	住宅係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続			
予算区分	款	7	土木費	項	5	住宅費	目	2	住宅建設費	
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)		
			国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源			
平成29年度	23,860	5,362	475	0	0	500	4,387			
平成29年度(明許)	13,397	200	0	0	0	0	200			
経費の内訳	補償、補填及び賠償金 4,492千円 委託料 951千円 その他119千円									
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)			
設定なし	箇所	目標								
		実績								
		達成率								
事業対象	・町営住宅等の建替え又は改修、下水道接続工事									
事業目的	町営住宅等を適正に維持するため、町営住宅等の建替え又は改修を行う。									
事業の 主な 実施状況	【主な実施内容】									
	1 町営みどり団地設計委託業務 950 千円 2 改良住宅成美団地改修工事に係る賠償金 4,291 千円									
成果と 課題	【前年度課題の概要】									
	① 今後の団地のあり方検討を要します。									
【成果及び前年度課題に対する対応】										
① 下水道接続工事に伴い、引き続き管理します。(県営住宅と同様)										
【次年度に向けての課題】										
① 今後の団地のあり方検討を要します。										
所管課の 評価	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
	評価点	10	10	1	3	1	1	妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
								公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
								有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
合計点	26	総合 評価	B	今後も改修工事を順次行います。					A:事業拡充 B:現状維持 C:内容の見直し又は委託の検討 D:縮小・終期設定 E:休止・廃止	
								効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0
								先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0

平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1339	事業名	鳥取中部地震災害対策事業(地震災害復旧費)			会計区分	一般会計			
担当課	建設課		担当係	土木係		事業区分	■新規 □継続			
予算区分	款	10	災害復旧費	項	2	地震災害復旧費	目	2	鳥取中部地震対策費	
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)		
			国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源			
平成29年度	7,000	6,011	0	0	0	0	6,011			
平成29年度(明許)	2,690	2,690				2,300	390			
経費の内訳	委託料 8,701千円									
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)			
設定なし	箇所	目標								
		実績								
		達成率								
事業対象	・町道立石台街路1号線(ガーデンヒルズ内)、町営住宅									
事業目的	鳥取中部地震でクラック被害のあった道路法面の復旧									
事業の 主な 実施状況	【主な実施内容】									
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町道立石台街路1号線で舗装の下り、ブロック積用壁の孕みやクラックが見られるため、周辺の地盤調査を行いました。 町道立石台街路1号線擁壁変状調査業務 6,011 千円 ○ 鳥取中部地震で被災した町営住宅の修繕を行いました。 松ヶ丘団地ほか町営住宅修繕 2,690 千円 									
成果と 課題	【前年度課題の概要】									
	【成果及び前年度課題に対する対応】 地盤自体には変状が見られず、盛土の土質不良による圧密が生じ、舗装の沈下及びブロック積に変状をきたしていることが判明しました。									
	【次年度に向けての課題】 原因が地震によるものでないことが判明し、地震災害復旧事業での実施が困難となったため、詳細設計以降の実施について財源を確保する必要があります。									
所管課の 評価	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
								妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
	評価点	10	10	1				公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
								有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
								効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0
合計点	21	総合評価					先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0	
									A:事業拡充 B:現状維持 C:内容の見直し又は委託の検討 D:縮小・終期設定 E:休止・廃止	

平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	673	事業名	公共土木施設災害復旧事業				会計区分	一般会計		
担当課	建設課		担当係	土木係		事業区分	■新規 □継続			
予算区分	款	10	災害復旧費	項	3	公共土木施設災害復旧費	目	1	公共土木施設災害復旧費	
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)		
			国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源			
平成29年度	8,292	5,734	1,865	0	0	1,000	2,869			
平成29年度(明許)										
経費の内訳	工事請負費 3,494千円 委託料 1,869千円 需用費 371千円									
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)			
道路・河川災害復旧	箇所	目標	—	—	2					
		実績	—	—	2					
		達成率	—	—	100%					
事業対象	町道及び河川施設									
事業目的	公共土木の災害復旧を行う。									
事業の 主な 実施状況	<p>○町道岩本線災害復旧 1. 災害復旧工事測量設計業務 907 千円 ※災害復旧工事は平成30年度に繰越</p> <p>○東川災害復旧 1. 災害復旧工事測量設計業務 962 千円 2. 災害復旧工事 3,494 千円</p>									
										
成果と 課題	【前年度課題の概要】									
	<p>【成果及び前年度課題に対する対応】 前回の災害発生から5年が経過していましたが、災害が生じていない中であっても、県内他市町で発生した災害の現場や査定状況を見学するなどして備えていた結果、災害査定を円滑に終えて一部工事発注することができました。</p>									
	<p>【次年度に向けての課題】 町道災害復旧工事は平成30年度に繰越しますが、6月を目途に完了するよう発注を行います。</p>									
所管課 の評価	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 行政必須か、委託の可能性は。	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
		10	10	3	3	3	1	公平性 受益者の偏りはないか。	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
	評価点	10	10	3	3	3	1	有効性 目標数値は達成できたか。	受給者の偏りはないか。	5,3,1,0
		30	総合 評価	B	災害発生時には、施設復旧を行う必要があります。				効率性 コスト・人員効率はどうか。	他の見本となりえるか。
合計点	30			B					A:事業拡充 B:現状維持 C:内容の見直し又は委託の検討 D:縮小・終期設定 E:休止・廃止	